

## 指定管理者の期末モニタリング

施設名	公設宮代福祉医療センター	年度	令和7年度
指定管理者	公益社団法人 地域医療振興協会	担当課	健康介護課
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和14年3月31日	期別	第4期
施設の目的	初期診療の拠点となる診療所に加え、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション施設、居宅介護支援事業所、保育所の6つの機能を複合した施設で、地域における保健・医療・福祉を一体的に包括して、乳幼児から高齢者までが住み慣れた環境の中で、生きがいをもって暮らせる社会の実現を目指すことを目的とする。		
業務の内容	<p>(1)診療所 初期診療の拠点として、在宅医療(往診・訪問看護)に対応する。</p> <p>(2)介護老人保健施設 病院の入院治療を終えて病状が回復期・安定期にある要介護者を対象に、看護・介護・リハビリテーションに重点をおき、高齢者の在宅復帰を目指す。</p> <p>(3)訪問看護ステーション 病院等の退院後、医師の指示に基づいて看護師等が家庭を訪問し、療養の世話や診療の補助などのサービスを提供する。</p> <p>(4)通所リハビリテーション施設 日帰りで、要支援者、要介護者に対するリハビリテーション等を提供する。</p> <p>(5)居宅介護支援事業所 介護保険サービスを受ける要介護者の在宅介護に関する相談や計画、連絡調整を総合的に引き受ける。</p> <p>(6)保育所 医療施設や高齢者福祉施設との併設の機能を生かし、通常保育、障がい児保育や病後児への対応、世代間交流事業等により新しい形の保育サービスを提供する。</p>		

<b>総合的な評価</b>	
【総合評価】	A優良 0 B適正 11 C改善 3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内における医療・介護・福祉の包括的な施設としての役割を果たしている。</li> <li>・広く利用者等の意見に十分耳を傾け、健全な事業を実施することにより、町民ニーズに応えるよう努めていただきたい。</li> <li>・施設内で起きた問題について組織内で十分反省し、改善計画書に基づき再発防止と信頼回復に向けて取り組んでいただきたい。</li> </ul>	
【評価事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の予防接種事業やかかりつけ医として重要な位置を占めている。</li> <li>・障がい者の就労支援事業の一貫で、洗濯業務について働く環境を継続して提供している。</li> </ul>
【改善事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高騰によりさまざまな経費について厳しくなっていることから、更なる経営努力と工夫が求められる。</li> <li>・利用者の高齢化や多様化を踏まえ、柔軟に対応した接遇力の向上を図っていただきたい。</li> <li>・利用者が減少している部門については検証と利用者ニーズの把握などを求める。</li> <li>・利用者への情報提供としてホームページの更新などはスピード感を持って対応いただきたい。</li> </ul>

<b>1. 施設の管理運営・事業</b>	評価	C 改善
令和7年度の年間実績については、外来患者数は29,904人(対前年比8.4%減)、入院患者数は697人(対前年度比57.3%減)、入所利用者数は25,206人(対前年度比4.5%減)、通所リハビリ利用者数は8,518人(対前年度比12.6%減)であった。入院患者数については、ターミナル等の利用が大幅に減少した。		
<b>2. 利用者の公平確保</b>	評価	B 適正
診療所には利用制限はない。介護老人保健施設は介護保険法で定められた条件を満たせば利用可能であり、利用者の公平性は保たれている。		

<b>3. 職員の配置、研修等</b>	評価	C 改善
<p>職員の退職等に伴い人員が不足する際は、採用活動と並行し、地域医療振興協会から職員を派遣し支障のないように対応している。</p> <p>研修は地域医療振興協会における新人研修、主任者研修、管理者研修等に加え、オンラインによる研修も実施しているが、より実効性のある研修への切り替えが求められる。外部講師による研修や新たな研修項目の追加など職員の資質向上と組織の活性化のための改善が必要である。</p> <p>職員の健康診断は年1回、夜勤実施者は年2回実施している。</p>		
<b>4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検</b>	評価	B 適正
<p>施設の維持管理事業及び設備の保守点検業務は、専門業者へ委託し保全に努め、内容や結果等の詳細な記録を残し台帳で管理している。また、医療設備・器具は専門業者による定期点検を実施し、制度の維持と保守管理を適切に行っている。</p>		
<b>5. 施設の修繕</b>	評価	B 適正
<p>医療機器・施設の修繕は適宜行っている。</p> <p>令和7年度は真空温水ヒーターや浴槽ろ過装置の部分装置の交換等を実施した。</p>		
<b>6. 備品管理</b>	評価	B 適正
<p>備品にはシールを貼って台帳で管理し、パソコン、プリンター、施設内携帯電話等の備品は必要に応じ増設や更新を行っている。</p>		
<b>7. 安全・危機管理</b>	評価	B 適正
<p>防火管理者は消防法に基づく消防計画を作成し、年2回の消防訓練を実施している。その内1回は、夜間を想定した訓練としている。また、防災マニュアルを完備し、緊急時はセンター長が緊急招集して指揮命令を行う組織図を作成している。町への連絡は保健センターに行くこととしている。</p>		
<b>8. 個人情報の管理</b>	評価	B 適正
<p>個人情報保護法に基づきセンター内の個人情報に関する書類は管理庫に施錠して保管し、電子カルテ内の個人情報は施錠したサーバー室で管理している。その他パソコンの使用に関してもパスワードで管理するなど情報管理を徹底している。</p>		
<b>9. 利用者ニーズの把握・反映</b>	評価	B 適正
<p>毎年2回開催している運営懇話会では、利用者の意見を聴取し意見を反映できるようにしているが、特に意見や要望はなかった。定期の予防接種については予約なしで接種できる体制をとり、インフルエンザ予防接種についてはウェブ予約を導入するなど利用者の利便性を考慮した体制を取っている。</p>		
<b>10. 自主事業の実施</b>	評価	B 適正
<p>介護老人保健施設では、季節ごとのイベント、外出等利用者の皆さんが年間を通して季節を感じ楽しんで過ごしていただくための行事を開催している。春はお花見、夏はお楽しみ会と夏祭り、秋は敬老会やそば打ち、冬はクリスマス会や節分などを開催。他にはボランティアによるコンサートや寿司パーティーを行った。</p>		
<b>11. 経費節減</b>	評価	B 適正
<p>光熱費をはじめ、米価など食材費の高騰などを考慮し電力使用量の削減や、消耗品の節約などを心掛けている。</p>		
<b>12. 環境への配慮</b>	評価	B 適正
<p>雨水を地下に貯留し菜園や車両洗浄に利用するほか、センター内では節水に努めている。</p>		
<b>13. 利用者への情報提供</b>	評価	C 改善
<p>六花の案内リーフレットでセンターの各事業を紹介している。介護老人保健施設の入所及び通所リハビリの利用希望者に対して、高齢者でも分かりやすい案内書にて丁寧な説明を心掛けている。また、ホームページからの情報発信にも努めているが、情報が更新されていない部分については、早急に更新を求めている。</p>		
<b>14. 会計管理</b>	評価	B 適正
<p>公益法人としての会計基準に則り適正な管理を行っている。会計法人と会計顧問の業務委託契約を締結し、毎月会計ソフトでの帳簿確認を実施しており、年1回の実地訪問で帳票類や内部統制の確認も実施している。</p>		